

2023 年度第 4 回社会・環境部会運営小委員会議事メモ（案）

2024 年 2 月 29 日
社会・環境部会 事務局長
山本 隆一

1. 開催日時
2024 年 2 月 29 日（木）10：00～12：10
2. 開催場所
Zoom によるリモート会議
3. 出席者
土田部会長、佐田副部会長、諸葛委員、寿楽委員、布目委員、稲村委員、
小林委員、木藤委員、竹田委員、桑垣委員、山本事務局長
4. 配付資料
23-4-0 議事次第
23-4-1 2023 年度第 3 回社会・環境部会運営小委員会議事メモ案 r1
23-4-2-1 表彰委員会議事メモ
23-4-2-2 社会・環境部会表彰要領改訂案
23-4-3 2024 年春の部会全体会議 議事次第（案）
23-4-4 研究専門委員会との合同企画セッションについて
23-4-5 部会等運営委員会の状況について
23-4-6 2023 年度予算執行状況等
23-4-7 マスメディアとの関係構築（現状報告およびお諮り事項）
23-4-8 当部会のポジション・ステートメントについて
23-4-10-1 2024 年度運営小委員会委員一覧
23-4-10-2 2024 年度運営体制表
5. 議事概要
部会長挨拶の後、議事次第に沿って議事が進められた。
 - (1) 前回議事メモ確認
山本より資料 23-4-1 に沿って前回の議事について紹介し、議事概要について確認された。
 - (2) 部会表彰について

佐田表彰委員長より資料 23-4-2-1 に沿って表彰委員会による審議の経過が説明され、結論として業績賞 1 件を推薦することとなったとのこと。

また、表彰委員会委員による推薦プロセスについて見直すこととなった旨も紹介された。質疑において、昨年度に一旦表彰候補とされ、最終的に対象外となった案件について、質問があったが、当該年度において表彰に値するような活動がなかったことから対象外とした旨の説明があった。

結果として、業績賞 1 件の表彰、並びに表彰要領の第 4 条 3 の見直し及び一部の字句修正案(資料 23-4-2-2)について了承された。

表彰状の作成等については、山本より昨年同様学会事務局に依頼し、作成された表彰状を山本が受け取り、別途調達する表彰状ホルダーに収納した上で、表彰式への出席がかなわない受賞者に表彰式の後、郵送する旨紹介された。また、表彰式においてはそのコピー版を全体会議に参集する部会員に紹介することとなった。以上の措置に伴い発生する表彰状ホルダーの購入・郵送等に要する費用(事務局から山本への表彰状の郵送、領収書の事務局への郵送費を含む)を表彰関係費用として支出する旨が紹介され、承認された。

(3) 2024 年春の年会への準備について

① 2024 年春の部会全体会議 議事次第 (案)

山本より資料 23-4-3 に沿って春の大会における全体会議について紹介があった。下方にある「表彰式に案内」については、表彰対象者の出席がかなわないことから、その表現も含めて別途検討することとなった。

② 研究専門委員会との合同企画セッションについて

寿楽委員より資料 23-4-4 に沿って合同企画セッションの概要について紹介があった。なお、事務局より問題提起された、外部講師への謝金の委員会会計からの支出については、ロジックが不明であることから、あらためて当方の考え方を提示することとした。

(4) 定例報告等

① 部会等運営委員会の状況について

稲村委員より資料 23-4-5 に沿って昨年 12 月 8 日に開催された部会等運営委員会について紹介があった後、以下の様な意見交換があった。プログラム編成委員、PSWG 委員、部会等運営委員、いずれも従事期間が長いので交代の必要があるのと問題提起がなされたが、本日は時間も無いので、別途意見交換の機会を持つこととなった。

② 2023 年度予算執行状況等について

小林委員より資料 23-4-6 に沿って説明があった。その中で、マスメディア交流会に関わる費用が具体化されたことが紹介され、支出について承認された。また、部会賞表彰に関わる経費についても紹介があった。

③ マスメディアとの関係構築について

廣瀬委員より 23-4-7 に沿って説明があった。本年 1 月 24 日に、ちよだプラットフォームスクウェア B1F ミーティングルームにて京大の黒崎先生に「原子力分野における人財育成・確保の現状と課題」と題して講演をお願いした。参加報道機関は昨年より少なめの 10 社 16 名であったが、活発な質疑が行われ、盛会であった。次年度は来年 1 月の第 2 金曜日あたりで、会場は同じ場所で、費用も同程度で考えているとのこと。

④ PS について

山本より 23-4-8 に沿って PS 検討チームでの検討状況を簡単に紹介した。検討チームの結論として、当部会が担当している PS うち、既に取り下げとした 3 件を除く 2 件についても、現状の社会環境に沿って修文することが困難である上、既に原子力アゴラ等で議論が進んでいることから取り下げ、当部会のアーカイブとして残すことを提案し、了承された。

⑤ 部会 HP について

部会長より過去の表彰者一覧に部会表彰のページから飛ぶように出来るようにしたいので、管理権限を預かりたいとの発言があり、木藤委員より管理権限を付与することとなった。

(5) その他

山本より、資料 23-4-10-1 及び資料 23-4-10-2 に沿って次年度の運営小委員会の構成の説明を行った。この中で、今期で任期切れとなる委員の内、菅原さんがこの秋からフランスに一年間サバティカルで出かけるとのことで、一度退任したいとの意思表示があったことが紹介された。また、代わりの委員候補として 1 名推薦を頂いたので、調整中であることが紹介された。本件、稲村委員の問題提起とも絡むので、更なる委員の増員について今後議論していくことが確認された。

以上